

令和3年度

事業報告

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

＜基本目標Ⅰ＞安心して自分らしく生活ができるための包括的支援体制の充実

第4期旭区地域福祉保健計画：目指す姿①「誰もが、ともに生きるまち」

＜相談支援・権利擁護部門＞

各種事業の推進、総合相談機能の強化 **重点目標**

※（財源）今年度決算額【前年度決算額】

1. 旭区ボランティアセンター (市受託金) (会費収入) 432 千円【353 千円】

コロナ禍においても、地域のつながりを途切れさせず、活動を継続していけるよう、情報発信や団体への支援を行った。ボランティアの受入れ施設や関係機関との連携・ヒアリングを通し、活動先の確保や新規受入れ先の発掘を図った。

(1) ボランティア相談調整、登録者数等

【相談調整】

依頼件数	依頼件数(件)	紹介件数(件)	紹介人数(人)	調整数(回)
児童	2	1	2	18
障害	33	16	36	549
高齢	20	9	12	179
外国人	1	1	0	2
限定せず	5	3	4	69
その他	6	1	1	17
合計	67	31	55	834

【登録者数】

個人	264(うち新規 50)人	前年度：374人
団体	162(うち新規 33)団体	前年度：153 団体

【ニーズ対応率】

R3	46%
R2	41%

(2) ボランティア情報の発信

区社協ホームページトップページ上に、「ボランティアセンターニュース」を開設。旭区ボランティアセンターに寄せられる「ボランティアニード情報」「活動メンバーの募集」等、関連情報を随時掲載した。



(3) ボランティア・市民活動者向け講座の開催

コロナ禍によりこれまで大切に紡いできた思いに気づき「今できること」を考える機会となること、また低迷している活動者のモチベーションを上げることを目的に講座（動画配信）を実施した。

配信期間	令和4年3月1日（火）～令和4年5月31日（火）
場 所	YouTube チャンネルにて配信
内 容	タイトル「コロナ禍で見えてきたこと、気づいたこと ～つながりの中で届けたい、思いやりの心～」 (1) 前半（約30分） 講師紹介、講義 (2) 後半（約30分） 講義、アンケート案内、旭区ボランティアセンター紹介 講師：公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員 澤岡 詩野氏

(4) 福祉関連物品の貸出・整備

名称	貸出件数
車イス	52
白杖	0

※アイマスク、高齢者擬似体験セット、点字器は新型コロナウイルス感染拡大防止のため貸出中止。

(5) 助成金に関する情報収集・情報提供

他団体の助成事業や民間の助成金等の情報収集を行い、情報提供を行った。

(6) ボランティアセンター運営委員会の開催

第1回	日 程	11月8日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人
	内 容	(1) 自己紹介・委員長の選任 (2) 旭区ボランティアセンター事業方針・令和2年度旭区ボランティアセンターの事業報告について (3) 令和3年度上半期 旭区ボランティアセンターの取組状況について (4) コロナ禍におけるボランティア活動の現状及び今後について (情報交換)
結 果	(1) 協議の上決定 (2) (3) 承認された (4) 協議した	
第2回	日 程	3月3日(木) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催
	内 容	(1) 令和4年度 旭区ボランティアセンターの事業計画(案)について (2) 令和3年度善意銀行寄付状況および令和4年度善意銀行配分計画について

	①令和3年度 善意銀行金銭寄付・配分状況について ②令和4年度 善意銀行配分計画について (3) その他 次年度の委員会について
結果	(1)～(3) 承認された。

2. 移動情報センターあさひ

移動情報センター運営（市受託金収入） 8,217千円【8,062千円】

ガイドボランティア事業（市補助金収入） 2,830千円【2,930千円】

- (1) 障害児・者にとって生活上大きな課題である「移動」について、情報を一元的に収集・発信するとともに、当事者やその家族からの相談に応じ、支援を行った。
また相談に関して、関係機関との情報および支援の方向性の共有を図った。

【相談件数】263件 <<内訳>>

障害種別	件数	障害種別	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
身体障害	73	知的障害	82	通院	78	余暇	34
精神障害	14	重複障害	25	通学・通所	72	制度説明	38
その他(高齢)	69			その他	41		

(2) 移動情報センター推進会議

第1回	日程	5月21日(金)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	21人
	内容	(1) 移動情報センターあさひ 相談内容の状況について ・令和2年度 年間相談内容の状況 ・ガイドボランティア事業アンケート調査結果 (2) 令和2年度移動情報センターあさひ事業報告について (3) 令和3年度移動情報センターあさひ年間計画について
	結果	(1)(2)(3) 報告した。
第2回	日程	10月29日(金)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	14人
	内容	(1) 移動情報センターあさひ 上半期受付状況について (2) 移動情報センターあさひ 上半期事業取組状況について (3) 相談ケースから見てきた課題や傾向、支援のあり方について
	結果	(1)(2) 報告した。(3) 検討した。
第3回	日程	2月25日(金)
	場所	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催
	人数	—

内 容	(1) 移動情報センターあさひ 第1～第3 四半期実績報告について (2) 移動情報センターあさひおよびガイドボランティアコーディネートから見えた課題とその対応について (3) 令和4年度移動情報センターあさひ計画(案)について
結 果	書面開催資料に関する意見照会書を送付した。

(3) ガイドボランティアの育成および活動支援を行い、ボランティアの確保に努め、移動支援をきっかけとした地域のつながりをつくるコーディネートを行った。

ガイドボランティア登録者	80人	前年度：78人
ガイドボランティア支援対象者	67人	前年度：76人

(4) ガイドボランティア交流会
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。

(5) 新たなガイドボランティアの育成を目的に、ガイドボランティア入門講座を開催

日 程	11月16日(火)
場 所	上白根地域ケアプラザ
人 数	18人
内 容	(1) ボランティア活動について (2) ガイドボランティア活動について

3. 旭区あんしんセンター (市社協委託料) (利用料収入) 740千円【744千円】

コロナ禍においても、面会不可の施設では、相談員に仲介してもらい本人へ支援を行うなど、3密を避け、個々の状況に応じて対応した。

【権利擁護事業】

福祉サービスの利用や金銭出納などが困難な高齢の方や障害のある方を対象として、日常生活や金銭管理など幅広く権利擁護に関する相談を受けるとともに、下記のサービスを実施した。

- ①福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス
- ②預金通帳など財産関係書類等預かりサービス

内容		実績	前年度
初回相談件数(件)		68	56
サービス	定期訪問・金銭管理サービス 件数(件)	85	88
	預かりサービス件数(件)	13	11
利用者総数(人)		85	88
新規利用者数(人)		12	8

終了利用者数（人）※	15	19
------------	----	----

※当年度内に契約し終了した利用者や、預かりサービスの終了者を含む

【市民後見人養成・活動支援事業】

横浜生活あんしんセンターと連携し、市民後見人育成および活動支援を行った。

- ①市民後見人登録者との面談の実施 2回
- ②旭区内市民後見人バンク登録者 3人（後見人受任者）

【権利擁護事業・成年後見制度普及啓発】

日程	内容・対象
9月10日（金）	権利擁護事業説明（社会福祉士分科会@二俣川地域ケアプラザ）

【成年後見サポートネット専門職会議への参加】

日 程	6月25日（金）
場 所	区役所
内 容	① アセスメントシートについて ② 区内相談傾向について
日 程	8月2日（月）、11月5日（金）、3月11日（金）
場 所	旭区福祉保健活動拠点、区役所
内 容	① 事例検討

【成年後見サポートネット全体会への参加】

日 程	8月2日（月）
場 所	旭区福祉保健活動拠点
内 容	① 申立て時の書類の書き方支援について ② よこはま成年後見推進センターの機能について
日 程	11月5日（金）
場 所	区役所
内 容	① 成年後見制度利用に否定的なケースの対応について ② よこはま成年後見推進センターの機能について

【市民後見サポートネットの開催】

日 程	1月17日（月）
場 所	旭区福祉保健活動拠点
内 容	① 弁護士より死後事務について ② 社会福祉士よりコロナ渦での活動について ③ 情報交換・質疑応答

4. 外出支援サービス・送迎サービス

委託事業：(市社協委託料) (利用料収入) 2,454 千円【3,293 千円】

区社協独自事業：(利用料収入) 46 千円【 29 千円】

旭区内の在宅の高齢者、難病患者、障害者でひとりでは公共の交通機関を利用した外出が困難な方を対象に、運転ボランティアの協力により福祉有償運送（関神福第147号）として車椅子対応の車両での送迎を行った。

新型コロナウイルス感染防止対策の観点から引き続きボランティア、利用者にマスク着用と体調確認、検温と手指消毒の実施を徹底した。

【活動実績】

委託事業	登録者数	利用回数
	65 人	67 件
区社協独自事業	登録者数	利用回数
	32 人	27 件

【ボランティア登録者数】 7 人

5. 生活福祉資金貸付事業

(県社協受託金収入) 3,481 千円【3,492 千円】

特例貸付 9,874 千円【12,024 千円】

(1) 特例貸付（緊急小口、総合支援資金）を中心に、新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯を貸付につなげた。また、低所得世帯や高齢者・障害者世帯などの自立支援を図ることを目的に各種資金貸付につなげた。

また、償還の相談対応や手続きに関する支援や、地区民児協への制度概要の説明を行った。 ※特例貸付金額については、県社協からの通知が未達となっているため不明

生活福祉資金（特例貸付）	相談件数	県社協送付件数	貸付金額（円）
緊急小口資金	2,038	674	—
総合支援資金		671	—
総合支援資金 延長貸付		237	—
総合支援資金 再貸付		480	—
合計	2,038	2,602	
生活福祉資金	相談件数	貸付決定件数	貸付金額（円）
総合支援資金貸付	388	0	0
臨時特例つなぎ資金貸付		0	0
緊急小口資金貸付		1	78,000
福祉資金 （生活必需品・車両購入等）	1,073	5	2,433,000
福祉資金（教育支援資金）		41(辞退含む)	27,819,000
不動産担保型生活資金	110	1	(91,000/回)
合計	1,571	48	30,330,000

6. 生活に困難を抱える方々への支援

深刻かつ見えにくい課題を抱える人々を身近な地域内で発見し、地域課題として捉え、その解決に取り組む仕組みづくりを進めた。

- (1) 福祉の相談窓口として、住民から寄せられる様々な相談・悩みごとを受け止め、対応につとめた。また区役所や地域ケアプラザ、専門機関より受けた相談に対し、個別に対応するだけでなく、地区社協、民生委員等の住民福祉活動、および専門職等とのネットワークからの生活問題の把握や相談者との関係づくりに努め、フォーマル・インフォーマルネットワークを生かした問題解決の取り組みを行った。

相談内容	相談件数	うち個別支援に関する相談件数
生活困窮者支援に関する相談 (食支援含む)	71	71
地域支援に関する相談	74	11
法人運営に関する相談	13	-
団体事務に関する相談	13	-
一般（寄付）に関する相談	48	-
一般（その他）	88	16
計	307	98

- (2) 「地域別☆地域の力を高めるミーティング」の開催

様々な相談を通じて、地域にある生活課題からその地域に必要な支援を住民・関係とともにつくりあげていくことを目指し、総合相談チームと地域支援チームによる「地域別☆地域の力を高めるミーティング」を月1回開催した。各相談業務の内容を地区別に集計し、地域の現状や課題を確認するとともに、日頃の地域支援の活動と結びつけながら、地域の方々とのやり取りや地域把握、課題共有に努めた。

- (3) 職員の相談対応力の強化

複雑化・複合化した地域住民の支援ニーズに応えていくために、内部研修会・事例検討を通じて、職員の相談対応力の強化を図るとともに、地域支援につながる取組について、問題点などを視覚的にとらえられるよう、内部検討、研修会（動画視聴等）を実施し、個別課題の顕在化・共有化を図った。

- (4) 要援護世帯への支援と他機関連携

生活課題等を抱えている要援護世帯等の支援を行った。また、当該事業の対象にならない世帯についても生活課題の解決に向け、他事業の紹介や他機関につなげるなどの支援を行った。

様々な事情により生活することが困難になっている方の状況に応じ、自立支援に向けて区役所、関係機関と連携をし、解決に向けた支援を行った。

(5) 生活困窮者への緊急食糧等の支援

緊急的に食料が必要な方や、経済的に困窮され、安定した生活や自立した生活に戻るために意欲的に取り組んでいる世帯に向けて、その一助としてセカンドハーベストジャパン、フードバンクかながわと連携し、食料支援を実施した。

(食料支援の内容：お米、缶詰、インスタント麺など)

【利用件数】セカンドハーベストジャパン：40世帯（77回）

フードバンクかながわ：50世帯（75回）

(6) 研修会の開催

①生活困窮者支援研修会

生活困窮者支援を通じて、本人や家族が取り巻く環境への働きかけと関係機関との連携、また地域とのつながりづくりの視点について学ぶため、旭区役所生活支援課（生活困窮者支援担当）との協働事業として開催した。

日 程	12月3日（金）14:00～17:00
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	39名 【旭区内地域ケアプラザ（地域包括支援センター職員等）、旭区社協第1種会員等】
テーマ	テーマ「コロナ禍における伴走型支援とは ～関係機関との連携、地域課題としての受け止め方～」 講師：文京学院大学 教授 中島 修氏
内 容	(1) 講義 (2) 事例をもとにグループ討議 (3) コロナ禍における生活困窮者への支援状況



(7) 火災等の災害罹災世帯への見舞金を交付した。 6件 60,000円

(8) 低所得者法外援護事業の実施

公的または私的な援護が受けられず一時的に困窮し、かつ緊急な援護を必要とする方に対し、低所得者法外援助費を支給した。 5件 2,160円

＜基本目標Ⅱ＞多様な主体による支え合いの地域づくりの推進

第4期旭区地域福祉保健計画：目指す姿②「みんなが、声をかけあえるまち」

(会費収入) (市社協補助金) (共同募金)

1. 地区社協活動の支援

5,998千円【5,386千円】

地区社協活動の推進を目的に、各地区社協からの相談に応じ情報提供や助成等の活動支援を行った。また、一人ひとりの困りごとを解決する仕組みづくりを進めるため、新型コロナウイルスの影響により見えてきたニーズに対して、地区社協と連携し、支援を行った。

身近な地域での困りごとを早期に発見し、地域社会からの孤立を防ぎ、支援につなげるため、地区社協を中心とした見守りの仕組みづくり「ご近助ほっこり活動」を開始した。

(1)区内19の地区社協の活動支援を目的として活動費の交付を行った。また、広報等の助成を実施した。

① 活動助成金：5,401,000円(19地区)

(単位：円)

	地区名	市社協補助金	区社協助成		合計
			広報啓発事業※	世帯按分助成	
1	鶴ヶ峰	50,000	10,000	245,000	305,000
2	白根	50,000	10,000	204,000	264,000
3	旭北	50,000	10,000	225,000	285,000
4	上白根	50,000	—	184,000	234,000
5	今宿	50,000	50,000	203,000	303,000
6	川井	50,000	—	200,000	250,000
7	若葉台	50,000	100,000	208,000	358,000
8	笹野台	50,000	80,000	196,000	326,000
9	希望が丘中	50,000	—	191,000	241,000
10	希望が丘南	50,000	50,000	188,000	288,000
11	希望が丘東	50,000	10,000	211,000	271,000
12	さちが丘	50,000	10,000	201,000	261,000
13	万騎が原	50,000	80,000	194,000	324,000
14	二俣川	50,000	10,000	210,000	270,000
15	二俣川ニュータウン	50,000	100,000	197,000	347,000
16	旭中央	50,000	10,000	178,000	238,000
17	旭南部	50,000	10,000	195,000	255,000
18	左近山	50,000	50,000	201,000	301,000
19	市沢	50,000	50,000	180,000	280,000
	合計	950,000	640,000	3,811,000	5,401,000

区社協助成については、共同募金（年末たすけあい）を財源として助成を行った。

※広報啓発事業（上限100,000円）

- ・ホームページの開設・運営：上限30,000円
- ・広報紙（地区社協だより等）の発行：上限70,000円

…年1回：10,000円、年4回（全戸配布）：50,000円、年6回（全戸配布）：70,000円

② ご近助ほっこり活動助成金：60,000円（2地区）

	地区名	金額(円)	内容
1	若葉台	30,000	事前説明会（8/29） 情報交換会（11/28、3/6）
2	市沢	30,000	研修会（10/9） 本事業の主旨説明会を開催。

共同募金（年末たすけあい）を財源に助成を行った（上限30,000円）。

(2)職員を地区担当制とし、地区社協事業・活動ニーズ等の状況把握や地区で進められている新規事業の立ち上げ、支えあい活動（無料頒布会等）の支援を行った。

また、区社協に寄せられた相談を地域につなげ、解決を図った。さらに、各地域ケアプラザと連携した地域支援を展開するために情報交換を実施した。

(3)「地区社会福祉協議会分科会（P35-37 参照）」を開催し、見守りの仕組みづくりを検討した。グループワーク等を通じて意見交換、情報交換を行った。

また各地区の広報紙や行政からのお知らせ等をまとめ、「地区社協定期便」として月1回地区社協に情報提供を行った。

横浜市社協と18区社協との共催で、「第6回 よこはま地域福祉フォーラム」を開催した。分科会2「一人ひとりに寄り添う、想いを紡ぐ」にて、「誰も孤立させないまち旭区を目指して～野菜提供を通じたつながりづくり～」をテーマに、JA横浜、旭区民生委員児童委員協議会とともに実践報告を行った。

2. ボランティア・市民活動団体への支援

（会費収入）（市社協補助金）（共同募金）（善意銀行）（福祉基金）

10,668千円【11,055千円】

(1)区内の地域福祉関係団体（ボランティア・当事者団体等）や地区での福祉に関する取組に対し、助成金を通じて支援した。（各区分、団体名、事業名、助成額の詳細については、P42～P45参照）また、助成金制度の円滑な運営と適正な執行のために、申込団体の審査や制度の検討を、助成金審査委員会にて行った。

あさひふれあい助成金、区社協独自助成金については、新型コロナウイルス感染症に伴い、申請受付（郵送受付、電話にて聞き取り）・助成決定（助成要件の緩和、活動内容の変更可等）ともに柔軟な対応を行った。長引く新型コロナウイルスの状況で、活動に悩む団体に対して、相談を受け付ける等地区担当を通して支援を行った。

【助成金審査委員会】

第1回	日程	6月1日(火)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	5名

	内 容	(1)委員長、副委員長の選出について (2)令和2年度 あさひふれあい助成金の助成結果について (3)令和3年度 あさひふれあい助成金の審査について (4)令和2年度 旭区地域福祉活動団体助成の結果について (5)令和3年度 旭区地域福祉活動団体助成の審査について (6)令和2年度 旭区社協独自助成金の返還について (7)令和3年度 旭区社協独自助成金の審査について
	結 果	(1)～(7)承認された。
第2回	日 程	9月2日(木)
	内 容	審査案件がないため、中止
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	5名
	内 容	(1)令和3年度 あさひふれあい助成金新規団体配分結果について (2)令和2年度 旭区社協独自助成金の返還について (3)令和3年度 旭区社会福祉協議会独自助成金の審査について (4)地域福祉活動団体助成の見直しについて
結 果	(1)～(4)承認された。	
第3回	日 程	2月18日(金)
	場 所	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催
	人 数	5名
	内 容	(1)令和3年度 あさひふれあい助成金新規団体配分結果について (報告) (2)令和3年度 旭区社会福祉協議会独自助成金の審査について (3)令和4年度 あさひふれあい助成金について (4)令和4年度 旭区社会福祉協議会独自助成金について (5)令和4年度 地域福祉活動団体助成について
	結 果	(1)報告した。(2)～(5)については承認された。

②あさひふれあい助成金

市社協補助金・共同募金配分金・善意銀行配分金・福祉基金を財源として、区内の地域福祉関係団体の事業に対して助成した。また助成団体には、共同募金の配分金を受けていることを活動チラシに明記する、街頭募金活動に協力するなど周知協力について依頼した。

区分		助成件数	助成金額(円)
要援護者支援	集いの場	52	4,714,000
	家事・生活支援活動	6	480,000
	配食	5	1,000,000
	送迎	4	1,200,000
障害当事者支援	障害当事者活動	12	830,000
	宿泊日帰り	1	50,000

	視聴覚障害者支援	1	50,000
福祉のまちづくり		21	810,000
健康増進		-	-
新規立ち上げ	要援護者支援（集いの場）	3	105,000
合計		105	9,239,000

※令和4年3月31日時点。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動中止・見送りとなった配分団体より完了報告時に返還が発生することが想定される。

③旭区社協独自助成

新たな地域活動の立上げやさらなる活動の継続と充実を支援するため、区社協独自助成金（①ボランティア備品購入、②周年事業・記念誌発行等助成金、③地域の見守り支えあい活動助成金）を交付した。

	名称	件数	金額（円）	財源	助成内容
1	周年記念事業・記念誌発行経費助成金	1	100,000	善意銀行	講演会および食事会
2	地域の見守り支えあい助成金	13	634,000	善意銀行	（上限額5万円）

※令和4年3月31日時点。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動中止・見送りとなった配分団体より完了報告時に返還が発生することが想定される。

④旭区地域活動団体等助成

区域を対象とした団体活動に対し、助成を行った。（2団体、総額554,000円）

⑤令和3年度 助成金説明会

令和3年度助成に関する説明会は、全4回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したが、資料を送付し、郵送で対応を行った。

(2) 旭区福祉保健活動拠点の運営 （市受託金収入）（負担金収入）14,790千円【14,760千円】

地域福祉・ボランティア活動の推進拠点である「旭区福祉保健活動拠点」の適正な管理運営を行った。（指定管理期間：令和3年度～令和7年度）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、区の指導に基づき、貸館利用人数の定員削減、開館時間の短縮、拠点来館者に対する感染予防を行った。

①ボランティアからの相談受付等を行い、福祉保健活動拠点を活用したボランティアの発掘および活動育成を行った。（P1参照）

②貸室業務を通して利用団体の活動内容、活動上の課題などを把握し支援した。

【登録団体数】 90団体

【利用状況】

平日	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	241	240	144	97.6	97.2	58.3
多目的研修室	138	131	184	55.9	53.0	78.3
点字製作室	133	43	16	53.8	17.4	6.5
録音室	3	4	0	1.2	1.6	0
対面朗読室	17	11	0	6.9	4.5	0

土	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	28	20	0	54.9	39.2	0
多目的研修室	15	23	51	29.4	45.1	100
点字製作室	7	3	0	13.7	5.9	0
録音室	0	0	0	0	0	0
対面朗読室	3	3	0	5.9	5.9	0

日祝	利用件数(件)			利用率(%)		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	13	9		19.1	13.2	
多目的研修室	11	10		16.2	14.7	
点字製作室	12	3		17.6	4.4	
録音室	0	0		0	0	
対面朗読室	2	2		2.9	2.9	

③窓口満足度調査や利用団体懇談会を通し、拠点利用者へのサービス向上に努めた。

【窓口満足度調査】

実施期間	11月1日(月)～11月30日(火)
回答者	213人
主な意見	① いつも親切に対応して下さり感謝しています。ありがとうございます。 ② いつもお世話になっています。今後ご迷惑かけることはあると思いますが、宜しくお願い致します。 ③ いつも気持ち良く利用させていただいてます。ありがとうございます。
改善宣言	① ご利用者さまが快適に気持ちよく拠点を利用できるよう、環境改善に努めます。 ② 今後も気持ちの良いあいさつに努めます。 ③ 今後ご利用者さまが意見を言いやすい雰囲気づくりに努めます。

【利用団体懇談会】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため資料を送付し書面にて情報を共有した。

資料内容	① 窓口満足度調査の報告について ② 利用の手引き 2022 年度版 ③ 設備利用申請書 ④ 利用団体等登録申請書
------	--

④拠点来館者に対する新型コロナウイルス感染予防の実施

拠点利用における注意事項の掲示、窓口受付時の対応の強化等の予防策を実施した。

- ・ 入口 2 か所で手指の消毒喚起
- ・ 受付時の検温実施
- ・ 「利用事前チェック表」による三密防止とマスク着用要請、換気、消毒への対応協力、参加者の把握依頼
- ・ ポスター掲示による三密回避、感染防止の注意喚起
- ・ 排煙口やドアの開閉による換気
- ・ 共有部分の定期的な消毒
- ・ 各部屋の利用人数制限
- ・ 各部屋にサーキュレーター設置
- ・ 部屋の利用終了後、消毒の徹底
- ・ 受付、相談スペース、多目的研修室に呼気・唾液飛沫の飛散防止シート、アクリルボードを設置
- ・ 各部屋に二酸化炭素濃度測定器を設置

3. 協働・連携による福祉課題へのアプローチ

「地域で支え合い 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう」を基本理念とする、第4期地域福祉保健計画を関係機関・団体と連携し策定・推進した。

(1) 地域福祉保健計画の推進 (市受託金収入) (負担金収入) (共同募金)

2,250 千円【10 千円】

第4期旭区地域福祉保健計画(令和3年度～令和7年度)の事務局を区役所・地域ケアプラザと協働で担い、第4期計画の策定の検討及び計画の進行管理や地区別支援チームの支援を行った。

【地域福祉保健計画事務局会議】 10 回

- ① 4月9日(金) ② 5月14日(金) ③ 6月11日(金) ④ 7月2日(金)
- ⑤ 8月6日(金) ⑥ 10月8日(金) ⑦ 11月12日(金) ⑧ 12月10日(金)
- ⑨ 1月14日(金) ⑩ 3月18日(金)

【地域福祉保健計画推進会議】

地域福祉保健計画策定・推進・評価及び地域福祉保健施策の総合的な推進等を目的に開催した。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催)

第1回	日 程	8月30日(月)
	場 所	—
	人 数	14人(福祉・保健・医療関係団体代表者)
	内 容	(1)旭区内地域包括支援センターの運営状況について (2)第4期きらっとあさひプランについて (3)福祉保健センターからの情報提供

【きらっとあさひ地区連絡会】

目 的	第4期計画の推進にあたり、大切にしたい視点をさらに深めていくことを目的として開催。
日 程	10月14日(木)、10月18日(月) ※両日とも同内容
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	59人(19地区計画推進組織代表者等)
内 容	(1)講義「地域共生社会と地域福祉保健計画」 講師 和田 敏明氏 (第4期旭区地域福祉保健計画策定アドバイザー、 ルーテル学院大学名誉教授) (2)第4期区(全域)計画について (3)第4期地区別計画の振り返りについて (4)事務連絡

【地区別支援チーム 新任研修】

目 的	地区支援チームの新任者を対象として、地域福祉保健計画の概要および関係機関の役割等を理解することを目的として開催。
日 程	①5月25日(火) ②5月26日(水) ※両日とも同内容
場 所	①区外部特別会議室2 ②旭公会堂ホール
人 数	49人(地区別支援チーム新任者等)
内 容	(1)地域福祉保健計画(きらっとあさひプラン)とは (2)「地区別計画」と「地区別支援チーム」について (3)地域ケアプラザの機能と役割について (4)社会福祉協議会の機能と役割について (5)地区別支援チームの活動事例

【地区別支援チーム 全員研修】

支援チームメンバーが地域支援の日常業務の関連性を認識し、相互の役割を理解することを目的として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

【地区別支援チームリーダー連絡会】

支援チームリーダーへ各地区の取組の振り返りの説明および情報提供等を目的として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

①区役所・地域ケアプラザとともに構成する「地区別支援チーム」の一員として19地区連合町内会エリアごとに策定した地区別計画の推進を支援した。

○地区別計画推進会議：50回参加 ○地区別支援チーム会議：26回参加

②第10回きらっとあさひ福祉大会の開催

地域福祉保健計画の周知および推進を目的として、地域で取り組まれている福祉保健活動の周知と福祉保健への関心を高めるために開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催及び動画DVDの配布による視聴形式とした。

日 程	令和4年3月1日(火)～令和4年4月30日(土)
場 所	オンライン形式及び動画DVDの配布
人 数	112回（動画再生回数、R4年4月23日現在）
主 催	旭区社会福祉協議会、旭区連合自治会町内会連絡協議会、旭区役所
内 容	<p>【第1部】</p> <p>1. 社会福祉功労受賞者紹介</p> <p>【第2部】</p> <p>1. 実践報告</p> <p>テーマ「地域の困りごとを発見・共有・解決できるネットワークづくり」 「誰もが困っていることを相談できるまちを目指して」</p> <p>【発表者】</p> <p>内田 紘司氏（二俣川地区社会福祉協議会 会長） 島貫 敏江氏（二俣川地区社会福祉協議会 副会長） 小川 勝氏（二俣川地区社会福祉協議会 事務局長） 内田 千晴氏（二俣川地区社会福祉協議会 事務局） 三和田 智美氏（二俣川地域ケアプラザ生活支援コーディネーター）</p> <p>【コーディネーター】</p> <p>平野 友康氏 （横浜創英大学 講師、本会ボランティアセンター運営委員会委員長）</p>

(2) 見守り・社会参加・生活支援の場の提供（生活支援体制整備事業）

（市社協委託料）200千円【200千円】

生活支援体制整備事業が開始され6年が経過した。本事業は「見守り・つながり」、「交流・居場所」、「生活支援」の3つの柱を中心に、高齢者等一人ひとりのできることを大切にしながら、住み慣れた地域で暮らし続けるために、多様な主体が連携・協力できる地域作りを目指すものである。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していた事業や研修等が実施できなかったが、本事業の推進役である各地域ケアプラザに配置された2層生活支援コーディネーターの支援等に取り組んだ。

① 1層(区域)生活支援コーディネーターとしての取組

地区社会福祉協議会分科会内で「見守り」の仕組みづくりについて「ワーキンググループ」を設置して検討して開始した「ご近助ほっこり活動」を、本事業の柱の一つである「見守り・つながり」と連携する形で実施した。

② 2層(地域ケアプラザエリア)生活支援コーディネーターと協働した取組

上記①の「ワーキンググループ」に2層生活支援コーディネーターにも参加してもらい、実際に地域で進めることをイメージしながら検討した。また、各地区での展開については、2層生活支援コーディネーターの協力を得て、地区社協や自治会町内会での説明の機会を設ける等、「ご近助ほっこり活動」を推進した。

活動団体同士のネットワーク構築や情報交換を目的に、2つの連絡会(食事サービス、ちょこっとボランティア)を開催した。例年実施しているサロン連絡会については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は未開催となり、通信を発行した。

【食事サービス連絡会】

日 程	6月21日(月) 24日(木) 29日(火) 30日(水) 7月5日(月) 6日(火)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	30団体(54人)
内 容	(1)食中毒・感染症予防講座 (2)団体間の活動情報共有 (3)団体ヒアリングについて

【ちょこっとボランティア連絡会】

日 程	11月5日(金)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	14団体(14人)
内 容	(1)講座 介護保険のサービスでできること、できないこと 講師：①上白根地域ケアプラザ地域包括支援センター 主任介護支援専門員 左雨 みや子氏 ②南希望が丘地域ケアプラザ 居宅介護支援 主任介護支援専門員 北澤 香織氏 (2)情報交換

【サロン連絡会】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため連絡会を開催せず、情報紙「旭区『つどい』の場通信」を発行して活動団体へ配布した。

- ・第1号（令和3年6月発行）
内容：感染症予防対策、コロナ禍での活動の工夫
- ・第2号（令和3年10月発行）
内容：活動団体紹介（川島町南町内会健康カフェ（鶴ヶ峰地区））
- ・第3号（令和3年11月発行）
内容：活動団体紹介（おしゃべりの会（若葉台地区））

③ 2層 生活支援コーディネーターへの支援

【生活支援コーディネーター連絡会】（原則毎月第3木曜日）

生活支援コーディネーター同士の情報交換を目的とした連絡会を実施した。

日 程	①4月15日(木) ②5月20日(木) ③6月17日(木) ④7月15日(木) ⑤9月16日(木) ⑥10月21日(木) ⑦11月18日(木) ⑧12月16日(木) ⑨2月17日(木) ⑩3月17日(木)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	16人（13地域ケアプラザの2層生活支援コーディネーター、1層生活支援コーディネーター、区役所地域包括ケア推進担当係長、区役所事業企画担当職員）
内 容	(1)区役所からの情報提供 (2)区社協からの情報提供 (3)生活支援コーディネーターが進めている各連絡会からの取組報告 (4)コロナ禍における活動について

【研修会の開催】

2層生活支援コーディネーターが、生活支援体制整備事業の理解を深め、コーディネーターとして必要な知識やスキルを学ぶために研修会を開催した。特に新任の生活支援コーディネーターに対して、事業の背景や趣旨、地域に住む高齢者一人ひとりの困りごとへの向きあい方や、制度やサービスだけではなく地域でできることについて考える機会を作った。

No	開催日	内 容	人数
1	4月19日(月)	新任生活支援コーディネーター勉強会① (白根地域ケアプラザ)	1
2	6月14日(月)	新任生活支援コーディネーター勉強会② (白根地域ケアプラザ)	1
3	6月22日(火)	新任生活支援コーディネーター勉強会① (川井地域ケアプラザ、今宿地域ケアプラザ)	2
4	9月14日(火)	新任生活支援コーディネーター勉強会① (ひかりが丘地域ケアプラザ)	1

5	9月16日(木)	新任生活支援コーディネーター勉強会② (川井地域ケアプラザ)	1
6	9月21日(火)	新任生活支援コーディネーター勉強会② (ひかりが丘地域ケアプラザ)	1
7	10月18日(月)	新任生活支援コーディネーター勉強会③ (川井地域ケアプラザ、ひかりが丘地域ケアプラザ)	2
8	11月25日(木)	新任生活支援コーディネーター勉強会① (今宿地域ケアプラザ)	1
9	12月17日(金)	新任生活支援コーディネーター勉強会② (今宿地域ケアプラザ)	1

④旭区食事サービス団体情報集の発行

コロナ禍での活動状況の共有等を目的とし、区内食事サービスグループ38団体の情報をまとめた冊子を作成し、各団体へ配布した。

⑤その他

- ・各2層生活支援コーディネーターから相談を受け、進捗状況の確認、事業の進め方の相談、情報提供を行った。
- ・活動の基盤整備としてヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ「ayamu」の入力を行い、活用できるように整備した。

(3) 重層的な支援体制に向けたネットワークづくり

地域支援を進めるにあたり、密接な連携先である地域ケアプラザと、事業等実施にあたり様々な場面で打ち合わせ等を行い、連携を図った。

①地域ケアプラザ所長会への参加

日 程	① 4月21日(水) ② 6月16日(水) ③ 10月20日(水) ④ 12月15日(水) ⑤ 2月書面開催
場 所	区役所外部会議室
参加者	13地域ケアプラザ所長、区役所関係各課、区社協
内 容	(1)区役所、区社協からの連絡 (2)各テーマでの意見交換 等

②地域活動交流コーディネーター連絡会(原則毎月第4木曜日)

連絡会のほか、コーディネーターが主体で開催する事務局会議や各自主グループ活動などに参加し、緊密に連携・支援を行った。

日 程	① 4月22日 ② 5月27日 ③ 6月24日 ④ 7月29日 ⑤ 8月6日 ⑥ 9月30日 ⑦ 10月7日 ⑧ 10月28日 ⑨ 12月23日 ⑩ 2月24日(オンライン)
場 所	鶴ヶ峰地域ケアプラザ、区役所等

人 数	16人（13地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター、区役所事業企画担当2名、区社協）
内 容	（1）区役所、区社協からの連絡 （2）各部会報告 （3）各自主グループからの報告 （4）意見交換（団体との意見交換等） （5）研修会

③旭区地域包括支援センター連絡会への参加

日 程	連絡会：①5月20日（木） ②9月24日（金） ③11月19日（金） ④3月17日（木） 事務局会議：①4月8日（木） ②4月22日（木） ③7月15日（木） ④8月26日（木） ⑤10月21日（木） ⑥1月20日（木） ⑦2月17日（木）
内 容	（1）区役所、区社協からの連絡 （2）三職種分科会、地域包括研修会報告 （3）各種研修 9月24日（金）「新型コロナウイルス発生時の対応」 3月17日（木）「生活支援コーディネーターと包括支援センターとの連携を学ぶ」

④旭区地域包括支援センター 社会福祉士分科会への参加

日 程	①5月14日（金） ②7月9日（金） ③9月10日（金） ④11月12日（金） ⑤1月14日（金）
内 容	（1）区役所、区社協からの連絡 （2）各委員会からの報告等

⑤地域ケアプラザ運営協議会への参加

- 上白根地域ケアプラザ：2回（7、3月書面審議）
- 左近山地域ケアプラザ：2回（5月19日（水）、3月書面審議）
- 川井地域ケアプラザ：2回（6月、3月書面審議）
- 若葉台地域ケアプラザ：3回（6月4日（金）、11月4日（木）、3月書面審議）
- 鶴ヶ峰地域ケアプラザ：2回（7月、3月書面審議）
- 今宿地域ケアプラザ：1回（6月書面審議）
- ひかりが丘地域ケアプラザ：3回（5月28日（金）、11月12日（金）3月16日（水））
- 南希望が丘地域ケアプラザ：1回（6月24日（木））
- 今宿西地域ケアプラザ：2回（6月書面審議、12月16日（木））
- 笹野台地域ケアプラザ：2回（5月書面審議 11月27日（土））
- 白根地域ケアプラザ：2回（6月書面審議、3月10日（木））
- 二俣川地域ケアプラザ：2回（6月、2月書面審議）

(4) 地域ケア会議等の参加

区域や各ケアプラザが開催する関係会議(地域ケア会議や巡回相談等)への参加を行い、地域ケアプラザや区役所と連携し、個別相談の解決に向けて、地区の関係者との共有を図った。

- ①区域で開催された地域ケア会議への参加：1回
- ②各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議への参加：2地域ケアプラザ、3回
- ③地域ケアプラザ・区役所との巡回相談への参加：4地域ケアプラザ、44回

(5) 地域ぐるみでの子育て支援として、子ども食堂、学習支援など旭区内における子どもが参加できる居場所リストを作成し、必要に応じて情報提供を行った。

(6) 区内子育て関係会議および学習会等に参加した。

【旭区子育て支援連絡会】

第1回	日程	6月24日(木)
	場所	区新館大会議室
	内容	(1) 令和3年度活動紹介、構成委員紹介 (2) 学習会について(案)
第2回	日程	1月31日(月)
	場所	書面開催
	内容	(1) 令和4年度新規加入構成団体等について (2) 代表・副代表の選出について (3) 令和3年度の活動内容(報告)

【旭区児童虐待・DV防止連絡会】

第1回	日程	7月9日(金)
	場所	旭公会堂 大会議室
	内容	(1) 西部児童相談所からの報告 (2) 旭区福祉保健センターの事業報告 (3) 令和3年度委員紹介 (4) 事例検討(テーマ: 通告対応について)
第2回	日程	11月25日(木)
	場所	オンライン開催
	内容	(1) 研修会「地域や関係機関における児童虐待予防及び支援」 講師: 子どもの虹情報研修センター専門相談室長 吉澤 賢治氏

<基本目標Ⅲ> 地域福祉保健の取組が広がる仕掛けづくりの推進

第4期旭区地域福祉保健計画：目指す姿③ 「ひとりひとりが、自分らしくいられるまち」

1. 福祉教育の推進

地域共生社会の実現に向けて、様々な世代が福祉への意識を高められるよう福祉教育に取り組んだ。

(1) 福祉教育への相談対応 (P46 参照)

種別	依頼件数 (件)	対応件数 (件)	コマ数 (日)	調整数 (回)	延べ参加者数 (人)	内容
小学校	17	14	14	558	1,744	視覚障害者による講話 他
中学校	1	0	0	93	0	認知症理解 他
高校	1	1	1	10	12	ボランティア、区社協について
その他	2	2	4	24	67	地域共生社会・ふくしについて
合計	21	17	19	685	1,823	

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった講座もあった。

《協力団体》順不同

旭区ひまわりの会、横浜市聴覚障害者協会、View-Net 神奈川、旭区おりしす会、なかよし支援グループ、横浜市立ろう特別支援学校、地域ケアプラザ 等

(2) 福祉教育検討会の開催

地域、学校、施設等の関係者と共に、地域共生社会の実現につながる福祉教育の意義や、旭区における福祉教育のあり方を検討した。

第1回	日程	7月20日(火)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	11人
	内容	(1) 第1回福祉教育検討会のふりかえり (2) 地域共生社会の実現につながる福祉教育の実践に向けて
	結果	(1) 説明した。(2) 協議した。
第2回	日程	10月21日(木)
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	7人
	内容	(1) 第2回福祉教育検討会のふりかえり (2) 地域共生社会の実現につながる福祉教育の実践に向けて
	結果	(2) 説明した。(3) 協議した。

(3) 旭区地域自立支援協議会への参加

障害児・者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、関係機関と連携し、その実現を目指した。

【各会議への参加】

会議名	日程
事務局会議	① 4月13日(火) ② 5月11日(火) ③ 6月8日(火) ④ 7月13日(火) ⑤ 8月10日(火) ⑥ 9月14日(火) ⑦ 10月12日(火) ⑧ 11月9日(火) ⑨ 12月14日(火) ⑩ 1月11日(火) ⑪ 2月8日(火) ⑫ 3月8日(火)
代表者会議	① 6月11日(金) ② 1月14日(金)
定例会	① 4月20日(火) ② 7月21日(水) ③ 10月27日(水) ④ 1月19日(水)
相談連絡会	① 1月21日(金)
精神連絡会	① 6月29日(火) ② 12月22日(水)
日中活動連絡会	① 7月14日(水) ② 10月13日(水) ③ 11月19日(金) ④ 1月12日(水) ⑤ 3月1日(火)
こども連絡会	① 7月8日(木)
旭区地域生活支援 フォーラム実行委員会	① 7月6日(火) ② 7月20日(火) ③ 8月10日(火) ④ 8月25日(水) ⑤ 9月22日(水) ⑥ 10月22日(金) ⑦ 11月17日(水) ⑧ 12月20日(月)

【あっぱれフェスタの共催】

(共同募金) 80千円【80千円】

区内の障害者地域作業所の周知を目的として、オンラインにてパフォーマンスの映像配信、自主製品のインターネット販売等を行った。

日 程	2月14日(月)～3月18日(金)
場 所	オンライン開催
内 容	・作業所製品販売(合同ネットショップを営業) ・あっぱれチャンネル(障害当事者による舞台発表)

【旭区地域生活支援フォーラムへの共催】

障害理解への周知を目的に講演と事例発表・シンポジウムを行った。

日 程	12月11日(土)
場 所	Zoomにてオンライン開催(ケアプラザ等でパブリックビューイングを実施)
内 容	① 基調講演『助けて!』と言える地域づくり! 講師: 奥田 知志 氏 (NPO法人抱樸(ほうぼく)理事長) ② シンポジウム『障害のある人も孤立しない暮らしに向けてなにができるか?』

(4) 企業の社会貢献活動支援

「地域共生社会」を共に進めるために、第一生命保険(株)横浜総合支社二俣川営業オフィスにて3回の研修を実施し、その後のひとり親頒布会等の周知や、寄付につながった。

2. 旭地域福祉マイスター養成講座の開催（会費収入）（共同募金）181千円【668千円】

市内他区や他都市で活躍している地域活動実践者にスポットを当て、地域を良くしていこうとする気持ちや活動実践に向けた思いを聞くことで、受講生の更なるレベルアップを図り、今まで以上に地域活動のリーダーとしての力を高めることを目的に開催した。

内容等（受講者20人：11地区の連合自治会、地区社協、民児協からの推薦者）

回	日程	内容・講師等	参加者数
1	11月12日（金）	開校式 講義：「地域共生社会における日ごろの見守り活動と防災について」 演習：自己紹介、受講者同士のディスカッション 【講師】日本社会事業大学専門職大学院客員教授 渋谷 篤男氏	24
2	11月30日（火）	実践者から学ぶ① 「逗子市 山の根自治会 龍村 敦子氏の実践から」 【ゲストスピーカー】 山の根自治会 会長 龍村 敦子氏	26
3	12月7日（火）	実践者から学ぶ② 「神奈川区 菅田地区社協 倉石 芳枝氏の実践から」 【ゲストスピーカー】 神奈川区 菅田地区社協 副会長 倉石 芳枝氏	27
4	12月17日（金）	実践者から学ぶ③ 「茅ヶ崎市 浜須賀地区社協（サポートはますか） 習田 祐子氏の実践から」 【ゲストスピーカー】 サポートはますか 代表 習田 祐子氏	31
5	令和4年 1月6日（木）	実践者から学ぶ④ 「神奈川区 羽沢地区 岐部 文明氏、和田 勝己氏の 実践から」 【ゲストスピーカー】 神奈川区 羽沢地区社協 会長 和田 勝己氏	30
6	令和4年 1月21日（金）	講義「人、組織を動かす地域づくりとは」 【講師】日本社会事業大学専門職大学院客員教授 渋谷 篤男氏	29

3. 孤立防止や社会とのつながりづくり

(1) 区内農家から野菜の提供を受け、生活にお困りの世帯等への「食」を通じた生活支援を民生委員・児童委員と連携して行う「孤立させない！『つながり食料支援事業』」（略称：つな食）を民生委員・児童委員と連携を密にして支援を継続した。

（支援件数：19世帯）

(2) 生活にお困りの方や地域から孤立しがちな方々を対象に、地区社協や民児協等と連携し、食料等無料頒布会や相談会を実施し、地域とのつながりづくりを進めた。

【ひとり親世帯向け旭区産野菜無料頒布会】

第1回	日 程	7月11日(日)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	主 催	旭区民生委員児童委員協議会、旭区社協
	人 数	37組
	内 容	①旭区産野菜の無料配布 ②お茶コーナー ③プチ工作コーナー ④各種相談機関チラシの配布
第2回	日 程	12月12日(日)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	主 催	旭区民生委員児童委員協議会、旭区社協
	人 数	43組
	内 容	①旭区産野菜の無料頒布 ②無料お茶コーナー ③プチ工作コーナー ④各種機関チラシ等の配布



【各地区での食品等無料頒布会&生活相談会】

二俣川地区	名 称	おたがいさまのために「おたすけ無料頒布会・生活相談会」
	日 程	6月6日(日)
	場 所	活動ホームふたまたがわ
	主 催	二俣川地区社協、旭区社協
	共 催	二俣川地区連合自治会、二俣川地区民生委員児童委員協議会、横浜市二俣川地域ケアプラザ NPO 法人活動ホームふたまたがわ、はなみずきの会、横浜市旭区福祉保健センター
	協 力	JA 横浜二俣川支店、二俣川地区レクリエーション協会
	人 数	新型コロナウイルス感染症拡大により生活変化や日常生活に不安を抱える方 35組
	内 容	旭区産野菜・食品・日用品などの無料頒布と個別生活相談会
上白根地区	名 称	おたすけ無料頒布会および生活相談会
	日 程	8月1日(日)
	場 所	西ひかりが丘団地集会所
	主 催	上白根地区社協、旭区社協

	共 催	上白根地区民生委員児童委員協議会
	協 力	JA 横浜、横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ
	人 数	新型コロナウイルス感染症拡大により生活変化や日常生活に不安を抱える方 41 組
	内 容	旭区産野菜・食品・日用品などの無料頒布と個別生活相談会
笹野台地区	名 称	～共に手をたずさえて～「くらし応援会」
	日 程	10 月 24 日（日）
	場 所	笹野台会館
	主 催	笹野台地区社協
	共 催	笹野台地区連合自治会、JA 横浜
	協 力	旭区社協、横浜市笹野台地域ケアプラザ
	人 数	コロナ禍や様々な理由により生活用品などにお困りの方 8 組
	内 容	野菜・食品・日用品などのお持ち帰りとくらし相談会
さちが丘地区	名 称	今、生活にお困りの方の為の「食品等無料頒布会」
	日 程	11 月 21 日（日）
	場 所	さちが丘地区連合自治会館
	主 催	さちが丘地区社協
	共 催	さちが丘地区連合自治会、さちが丘地区民生委員児童委員協議会
	協 力	旭区社協、横浜市二俣川地域ケアプラザ、JA 横浜 二俣川支店
	人 数	新型コロナウイルス感染症拡大により生活変化や日常生活に不安を抱える方 34 組
	内 容	食品・日用品・旭区産野菜の無料頒布と個別相談
旭北地区	名 称	「おたがいさま」のために「おたすけ無料頒布会・生活相談会」
	日 程	11 月 27 日（土）
	場 所	上白根コミュニティハウス
	主 催	旭北地区社協、旭区社協
	共 催	旭北地区連合自治会
	協 力	旭北地区民生委員児童委員協議会、横浜市上白根地域ケアプラザ、上白根コミュニティハウス
	人 数	新型コロナウイルス感染症拡大により生活変化や日常生活に不安を抱える方 31 組
	内 容	食品・日用品などの無料頒布と個別生活相談
希望が丘東地区	名 称	今、生活にお困りの方向け「くらし応援会と相談会」
	日 程	1 月 23 日（日）
	場 所	春ノ木会館
	主 催	希望が丘東地区社協、希望が丘東地区連合自治会、希望が丘東地区民生委員児童委員協議会
	協 力	中尾小学校、中尾小 SDGs 委員会、資源循環局旭事務所
	後 援	旭区社協、横浜市今宿地域ケアプラザ

	人数	コロナ禍や様々な理由により生活用品などにお困りの方 29組
	内容	食品・日用品・文具などの無料提供とくらし相談会
鶴ヶ峰地区	名称	ニコニコ笑顔「くらし応援会および生活相談会」
	日程	3月13日(日)
	場所	鶴ヶ峰南住宅集会所
	主催	鶴ヶ峰地区社協
	協力	鶴ヶ峰地区町内会連合会
	後援	旭区社協、横浜市鶴ヶ峰地域ケアプラザ
	人数	コロナ禍や様々な理由により生活にお困りの方 65組
内容	野菜・食品・生活用品などの無料配布と生活相談会	

4. 寄付文化の醸成（善意銀行の運営）

区民・団体・企業等からの寄付（金品・物品）を受け付けた。配分にあたっては、ボランティアセンター運営委員会に諮り、配分を行った。

※金品寄付者の詳細についてはP47参照。

【寄付金の受入】

繰越金(円)	寄付件数 (件)	寄付額(円)	配分額(円)	戻入額(円)	配分残額 (円)
5,107,791	28	963,801	1,734,000	184,669	4,522,261

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を中止したふれあい助成金配分団体より184,669円の戻入があった。

【寄付金の配分】

	使途	件数	金額(円)	配分先
1	ふれあい助成金	3	1,000,000	要援護者支援区分・集いの場活動
2	地域の見守り支え あい助成金	13	634,000	地域での訪問活動や子ども・地域食堂、居場所づくり等、気になる子ども、高齢者、世帯等に対し、見守り活動を実施する団体
3	周年事業・記念誌 発行等助成金	1	100,000	区社協会員が対象。団体・施設の周年事業や記念誌発行等を行う団体

【物品の受入】

No	寄付者名	寄付品	配分先
1	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容福祉券	障害当事者：151件

5. 広報・啓発

広く区民に向けて、地域共生社会の理解と関心を高められるよう、積極的な広報啓発を行った。

(1) 「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」の作成・発行

【あさひいきいき宣言】

年3回 93,000部 全戸配布

第107号(8月発行)

特集:「お互いさま」の気持ちで地域のみんが笑顔に!

第108号(11月発行)

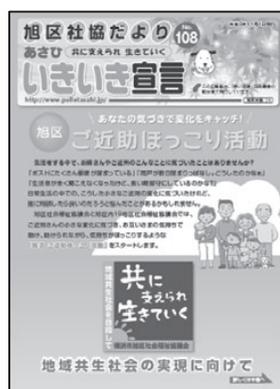
特集:あなたの気づきで変化をキャッチ! ご近助ほっこり活動

第109号(3月発行)

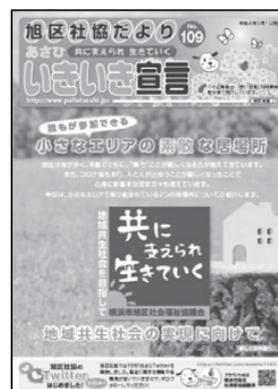
特集:誰もが参加できる小さなエリアの素敵な居場所



NO.107号



NO.108号



NO.109号

(2) ホームページの運営、更新

ホームページの管理運営を行い、随時更新、最新情報を発信した。また、「旭区ボランティアセンターニュース」、「旭区社協 会員ニュース」を新設した。

(ホームページ更新回数およびアクセス数)

更新回数: 33回 アクセス数: 44,662件



(3) Youtube チャンネル・公式 Twitter の開設

広く区民に分かりやすい広報の一環として、チャンネルを開設した。

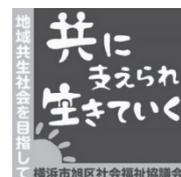
YouTube 更新回数 (限定公開も含む): 7回 Twitter 投稿数: 77件

掲載内容:

①R3 年度ボランティア・市民活動者向け講座【前後半】「コロナ禍で見えてきたこと、気づいたこと～つながりの中で届けたい、思いやりの心～」

(4) ロゴマークの活用

「地域共生社会の実現」をテーマとして引き続き掲げ、広く関係団体や区民に啓発した。



< 基本目標Ⅳ > 区社協組織・活動基盤の整備

(1) 区社協基盤整備

①正会員会員数 施設・団体（入会：1、退会：4）

【会員数】

種別	会員数	種別	会員数
第1種(施設)	81	第6種(ボランティア団体)	47
第2種(民児協)	20	第7種(福祉団体)	24
第3種(地区社協)	19	第8種(行政)	4
第4種(自治会・町内会)	19	第9種(学識)	2
第5種(当事者団体)	31	合計：247	

賛助会費の募集

各地区連合自治会町内会の協力のもと各地区社協と協働で実施した。

○総額：5,156,550円（19地区総額・目安額：1世帯70円）

②福祉基金の積立・活用

地域の福祉保健活動の財源を今後も確保するため、福祉基金の積立と運用を行った。また、地域福祉活動の助成金の原資として福祉基金の活用を行った。

○基本原資（令和4年3月31日時点）

公共債	30,000,000
定期・定額貯金	19,855,463
普通預金	38,500,000
合計	88,355,463

○令和3年度運用収入

福祉基金運用収入	206,259
----------	---------

○令和3年度サービス区分間繰入金支出（助成金への活用）

福祉基金繰入金支出	1,977,369
-----------	-----------

③市民からの提案、苦情解決への対応

市民からの提案 0件 苦情 0件

(2) 理事会・評議員会・分科会・委員会の開催

【理事会】6回

第1回	日程	6月3日（木）
	場所	旭区福祉保健活動拠点
	人数	8人(定数：11人)、監事2人
	内容	(1) 横浜市旭区社会福祉協議会 令和2年度事業報告及び収入支出決算報告について (2) 評議員選任・解任委員会委員の選任について

		(3) 評議員選任・解任委員会の招集について (4) 評議員選任候補者の推薦について (5) 定時評議員会の招集について (6) 監事候補者の選定について (7) 会員の承認について
	結 果	(1)～(7) 承認された。
第2回	日 程	6月23日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	理事11人(定数:11人)、監事2人
	内 容	(1) 社会福祉法人横浜市旭区社会福祉協議会会長の選定について (2) 社会福祉法人横浜市旭区社会福祉協議会副会長の選定について (3) 顧問の選任について
	結 果	(1)～(3) 承認された。
第3回	人 数	11人(定数:11人)、監事3人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため「決議の省略」にて実施。
	内 容	(1) 令和3年度 横浜市旭区社会福祉協議会 一般会計収入支出補正予算(案)について (2) 福祉基金の運用について (3) 評議員会の招集について
	結 果	9月10日、全員一致により、承認された。
第4回	日 程	11月17日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	9人(定数:11人)、監事2人
	内 容	(1) 旭区社会福祉協議会 社会福祉功労表彰審査について
	結 果	(1)承認された。
第5回	人 数	11人(定数:11人)、監事3人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため「決議の省略」にて実施。
	内 容	(1) 福祉基金設置規程の一部改正について (2) 令和3年度 横浜市旭区社会福祉協議会 一般会計収入支出補正予算(案)について (3) 評議員会の招集について (4) 令和5年度赤い羽根共同募金地域福祉事業費ならびに令和4年度年末たすけあい援護費使途計画について
	結 果	2月1日、全員一致により承認された。
第6回	人 数	11人(定数:11人)、監事3人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため「決議の省略」にて実施。
	内 容	(1) 令和4年度 横浜市旭区社会福祉協議会事業計画(案)および収入支出予算(案)について (2) 令和3年度 役員等賠償補償(損害責任保険)の加入内容について

		(3) 評議員選任・解任委員会運営規則の改正について (4) 評議員会の招集について
	結 果	3月12日、全員一致により承認された。

【評議員会】 4回

第1回	日 程	6月23日(水)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	評議員18人(定数:23人)、監事2名
	内 容	(1) 横浜市旭区社会福祉協議会 令和2年度事業報告および収入支出決算について (2) 理事の選任について (3) 監事の選任について
	結 果	(1)～(3) 承認された。
第2回	人 数	評議員23人(定数:23人) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため「決議の省略」にて実施。
	内 容	(1) 令和3年度 横浜市旭区社会福祉協議会 一般会計収入支出補正予算(案)について
	結 果	10月8日、全員一致により承認された。
第3回	人 数	評議員23人(定数:23人) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため「決議の省略」にて実施。
	内 容	(1) 福祉基金設置規程の一部改正について (2) 令和3年度 横浜市旭区社会福祉協議会 一般会計収入支出補正予算(案)について
	結 果	2月18日、全員一致により承認された。
第4回	人 数	評議員23人(定数:23人) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため「決議の省略」にて実施。
	内 容	(1) 令和4年度 横浜市旭区社会福祉協議会事業計画(案)および収入支出予算(案)について
	結 果	3月28日、全員一致により承認された。

【評議員選任・解任委員会】 1回

第1回	日 程	6月11日(金)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	3人(定数:4人)
	内 容	評議員の選任について
	結 果	承認された。

【監事監査会】 1回

日 程	5月26日(水)
場 所	旭区福祉保健活動拠点
人 数	2人
内 容	(1) 令和2年度の業務監査 (2) 令和2年度の財務監査 (3) 監事候補者の同意について
結 果	(1)～(3) 承認された。

【業者選定委員会】 2回

第1回	日 程	7月5日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	3人
	内 容	(1) 第4期旭区地域福祉保健計画 計画冊子および地区別計画リーフレット印刷・製本委託契約について
	結 果	(1) 承認された。
第2回	人 数	委員3人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため「決議の省略」にて実施。
	内 容	(1) 令和4年度 広報紙「あさひいきいき宣言」の発行に伴う印刷業務について (2) 令和4年度 旭区福祉保健活動拠点「旭区福祉保健活動拠点」清掃委託契約について
	結 果	1月26日、全員一致により承認された。

【民生委員・児童委員分科会】

今年度は会長会だけでなく正副会長、監事、主任児童委員代表が参加する企画委員会から1層生活支援コーディネーターが参加し、事業について企画段階から参加した。
(区民生委員児童委員協議会会長会は事務局長と1層生活支援コーディネーターが出席)

第1回	日 程	4月8日(木)
	場 所	旭公会堂 講堂
	人 数	20人
	内 容	(1) ひとり親世帯向け旭区産野菜無料頒布会及び生活にお困りの方向け食品等無料頒布会&生活相談会来場者の情報共有について (2) 旭区社協民生委員児童委員分科会 次期分科会長・副分科会長の選任について 次期旭区社協理事、評議員候補者、旭区ボランティアセンター運営委員会委員の推薦について

	結 果	(1)説明した。 (2)以下のとおり選任された。 分科会長：峰松 雅子氏（若葉台地区） 副分科会長：渡邊 多喜男氏（市沢地区） 徳久 和彦氏（万騎が原地区） 理 事：峰松 雅子氏（若葉台地区） 評議員：渡邊 多喜男氏（市沢地区） 鈴木 敦子氏（希望が丘東地区） 高田 充枝氏（旭北地区） ボランティアセンター運営委員：國井 淳子氏（鶴ヶ峰地区西）
第2回	日 程	5月13日（木）
	場 所	旭公会堂 講堂
	人 数	40人
	内 容	(1)おたがいさまのために「おたすけ無料頒布会・生活相談会」の開催について (2)令和2年度 新あさひみらい塾の事業報告について
	結 果	(1)、(2)説明した。
第3回	日 程	6月10日（木）
	場 所	旭公会堂 講堂
	人 数	20人
	内 容	(1)旭区ご近助ほっこり活動について (2)令和3年度共同募金「赤い羽根街頭募金」の日程について (3)ひとり親世帯向け旭区産野菜無料頒布会について (4)第10回（令和3年度）きらっとあさひ福祉大会の開催日程について
	結 果	(1)～(4)説明した。
第4回	日 程	7月8日（木）
	場 所	旭公会堂 1, 2号会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)心のバリアフリーカレンダーの作成及びバリアフリーカレンダー作品展の終了について (2)ひとり親世帯向け旭区産野菜無料頒布会（9月）について (3)おたすけ無料頒布会および生活相談会について
	結 果	(1)～(3)説明した。
第5回	日 程	書面開催
	場 所	—
	人 数	—
	内 容	(1)生活福祉資金新任民生委員研修について
	結 果	(1)書類送付した。

第6回	日 程	10月13日(水)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和3年度「旭地域福祉マイスター養成講座」の推薦について (2)令和3年度赤い羽根共同募金の結果報告について
	結 果	(1)、(2)説明した。
第7回	日 程	11月11日(木)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)令和2年度「生活福祉資金借受世帯支援記録票整備状況報告」について (2)令和3年度民生委員活動費(生活福祉資金)の交付について (3)孤立させない!「つながり食料支援事業」について(報告) (4)ひとり親世帯向け旭区産野菜無料頒布会(12月)について (5)第6回よこはま地域福祉フォーラムDVDの貸出について
	結 果	(1)～(5)説明した。
第8回	日 程	12月9日(木)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	20人
	内 容	(1)笹野台地区暮らし応援会及びさちが丘地区食品等無料頒布会・生活相談会、旭北地区おたすけ無料頒布会・生活相談会の来場者の情報共有について
	結 果	(1)説明した。
第9回	日 程	書面開催
	場 所	—
	人 数	—
	内 容	(1)鶴ヶ峰地区ニコニコ笑顔「暮らし応援会」および生活相談会の開催について
	結 果	(1)説明した。
第10回	日 程	書面開催
	場 所	—
	人 数	—
	内 容	(1)共同募金旭区支会 役員任期満了に係る副支会長等の推薦について (2)ボランティア・市民活動者向け講座 「コロナ禍で見えてきたこと、気づいたこと～つながりの中で届けたい、思いやりの心～」動画配信について (3)令和4年度「第18回旭区チャリティーゴルフ大会」の開催中止及びボランティア依頼について(周知)
	結 果	(1)以下の通り推薦された。

	副支会長：峰松 雅子氏（若葉台地区会長） 常任委員：杉山 敏幸氏（さちが丘地区会長） 常任委員：小川 勝氏（二俣川地区会長） 監 事：渡邊 明氏（左近山地区副会長） (2)、(3)書類送付した。
--	---

【地区社会福祉協議会分科会】

(1) 分科会

グループワーク等を通じて、各地区の取組状況について意見交換・情報交換を行った。

第1回	日 程	5月27日(木) ①13:00～14:30 ②15:00～16:30
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	①11地区19名 ②8地区13名
	内 容	議題 (1) 令和3年度 区社協職員紹介 (2) 令和3年度 赤い羽根共同募金について (3) 地区社協検討会について (4) 第6回よこはま地域福祉フォーラムについて (5) 令和3年度 地区社協状況書について (6) 区社協補助金、市社協補助金について (7) 令和2年度 新あさひみらい塾の報告について (8) 二俣川地区社会福祉協議会 おたがいさまのために「おたすけ無料頒布会・生活相談会」の案内 (9) 「旭区ご近助ほっこり活動」について 意見交換 「ご近助ほっこり活動」の仕組みの手引きについて、進め方についての意見交換
	結 果	(1)～(9)説明した。
第2回	日 程	7月9日(金) 研修会：14:00～15:40 分科会：15:50～16:30
	場 所	旭公会堂
	人 数	144名
	内 容	研修会 (1) 旭区要援護者高齢者等あんしん見守り事業の終了について (2) 地区社協分科会ワーキンググループでの検討結果について (3) 「ご近助ほっこり活動」の手引きについて

		<p>(4) ご講演「旭区『ご近助ほっこり活動のスタートにあたって』 -19 地区社会福祉協議会 見守りを地域で進めていくために-」 講師：社会福祉法人 大樹 理事長 山本 一郎氏</p> <p>◎分科会 議題 (1) 「ご近助ほっこり活動補助金」について (2) 令和3年度 地区別「ふれあい助成金」・「地域の見守り支えあい活動助成金」助成決定団体一覧</p> <p>報告事項 (1) 二俣川地区社会福祉協議会「おたがいさまのためにおたすけ無料頒布会・生活相談会」について (2) 上白根地区社会福祉協議会「おたすけ無料頒布会および生活相談会」について</p>
	結 果	研修会、議題、報告事項について説明した。
情報交換会	日 程	10月27日(水)、10月28日(木)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	内 容	<p>(1) 研修「見守り・支え合い活動における地区社協の役割」 日本社会事業大学専門職大学院 客員教授 渋谷 篤男氏</p> <p>(2) 情報交換会</p>
第3回	日 程	11月26日(金)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	①9地区17名 ②10地区17名
	内 容	<p>連絡事項 (1) 第14回地域生活支援フォーラム (2) 第10回きらっとあさひ福祉大会社会福祉功労表彰受賞者決定について</p> <p>実践報告 「課題を抱える人や、孤立している人たちとの関わり ～おたがいさまのために おたすけ無料頒布会・生活相談会から見えたこと～」 講 師：横浜創英大学 こども教育学部 平野 友康氏 実践報告：二俣川地区社会福祉協議会 会長 内田 紘司氏</p> <p>意見交換 「実践報告を聞いて感じたこと、地域活動を振り返って、孤立している人や困っている人とつながるためには」</p>
第4回	日 程	1月27日(木)
	結 果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。

第5回	日 程	3月24日(木)
	結 果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。



(2) ワーキンググループ

地区社協のネットワークを活かした見守り活動の推進のため、新たにワーキンググループを設け、検討を進めた。また、7月よりご近助ほっこり活動を開始した。

第1回	日 程	4月12日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人(6地区)
	内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関への説明スケジュールの確認 ・各種書式の検討
第2回	日 程	5月10日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	6人(6地区)
	内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム編成について ・手引きに掲載する事項の最終確認 ・活動記録について

【地域組織分科会】

会議に出席し、各地区連合会長との連携を深めた。

(区連合町内会自治会連絡会定例会へ事務局長が出席)

第1回	日 程	4月19日(月)
	場 所	区役所 新館 大会議室
	人 数	18人
	内 容	<ul style="list-style-type: none"> (1)「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」の配布及び配布謝金の免除について (2)令和3年度日本赤十字社会員増強運動(会員募集)及び令和3年度旭区更生保護協会会費の納入について (3)第4期旭区地域福祉保健計画(きらっとあさひプラン)地区別計画の原稿提出期限の確定について (4)令和2年度新あさひみらい塾実施結果について
	結 果	(1)(2)について依頼し承認された。(3)について情報提供した。

		(4)について報告した。
第2回	日 程	5月17日(月)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	19人
	内 容	(1)第10回きらっとあさひ福祉大会開催日程について
	結 果	(1)について情報提供した。
第3回	日 程	6月18日(金)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19人
	内 容	(1)令和3年度共同募金運動へのご協力について
	結 果	(1)について依頼し承認された。
第4回	日 程	7月19日(月)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19人
	内 容	(1)令和3年度日赤旭区地区委員会事業推進費(災害用)の交付について (2)第4期旭区地域福祉保健計画「きらっとあさひプラン」啓発リーフレット・地区別計画の配布及び配布謝金の免除について (3)広報紙「あさひいきいき宣言107号」の戸別世帯配布について
	結 果	(1)～(3)について依頼し承認された。
第5回	日 程	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。書面により情報提供
	内 容	(1)令和3年度きらっとあさひ地区連絡会の開催日程について
	結 果	(1)について依頼した。
第6回	日 程	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。書面により情報提供
	内 容	(1)令和3年度共同募金運動へのご協力について (2)旭地域マイスター養成講座について (3)第4期旭区地域福祉保健計画「きらっとあさひプラン」啓発リーフレット・地区別計画の配布について
	結 果	(1)～(3)について依頼し承認された。
第7回	日 程	10月18日(月)
	場 所	新館大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)広報紙「あさひいきいき宣言(No.108)」の戸別世帯配布について (2)第4期旭区地域福祉保健計画「きらっとあさひプラン」計画冊子の一部訂正について
	結 果	(1)～(2)について依頼し承認された。
第8回	日 程	11月18日(木)
	場 所	旭区福祉保健活動拠点
	人 数	19人

	内 容	(1)ゆうちょ銀行を利用した現金での振り込みにかかる加算料金並びに共同募金(封筒募金)の払込について
	結 果	(1)について依頼し承認された。
第9回	日 程	12月17日(金)
	場 所	区役所 新館大会議室
	人 数	19人
	内 容	(1)第4期旭区地域福祉保健計画「きらっとあさひプラン」計画冊子の一部訂正の追加について
	結 果	(1)について情報提供した。
第10回	日 程	1月18日(火)
	場 所	区役所新館 大会議室
	人 数	19人
	内 容	依頼及び説明事項なし
	結 果	なし
第11回	日 程	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。書面により情報提供。
	内 容	(1)第4期旭区地域福祉保健計画(きらっとあさひプラン)の地区別計画の原稿提出の延期について
	結 果	(1)について情報提供した。
第12回	日 程	3月18日(金)
	場 所	旭公会堂講堂
	人 数	19人
	内 容	(1)令和4年度日本赤十字社会費募集について (2)令和3年度日本赤十字社会費募集結果報告について
	結 果	(1)について依頼し承認された。(2)について情報提供した。

(3)社会福祉功勞表彰

長年にわたり、旭区において地域福祉の推進に携わってこられた個人・団体の功績をたたえ、地域福祉の一層の充実を図るため、令和3年度旭区社会福祉協議会社会福祉功勞表彰を実施した。

《地域福祉功勞(9名)》敬称略

鈴木 幹枝、鬼塚 明彦、井澤 キヨミ、鵜飼 教子、名原 ヤス子、庭野 勝子
小宮山 京子、内田 順子、多田 満智子

《寄付金品功勞(1団体)》敬称略

株式会社 坂本興業

《特別功勞(5名)》敬称略

今野 勝則、久保田 ゆみ子、菊地 雅道、近藤 始郎、前田 公伸

※いずれも名簿への登載を希望されなかった方の氏名・団体名は記載しておりません。

各受賞者へは表彰状、旭区地域自立支援協議会の協力を得て、区内障害者地域作業所製品の詰め合わせを記念品として贈呈した。

(4) 災害ボランティア連絡会の活動支援

災害時のボランティアコーディネートを円滑に行うための啓発・人材育成・関係団体とのネットワーク構築を担う組織「旭区災害ボランティア連絡会」定例会や各訓練等に参加し、情報共有及び活動支援を行った。

ICTの活用を目指し、災害ボランティアセンター運営をはじめとした災害時に活用する情報共有システム等の構築を進めるため、横浜市社会福祉協議会の災害ボランティアプロジェクトに参加した。

(5) コンプライアンスの推進、人材育成

① コンプライアンスの推進のため、区社協内部で発生した事件・事故、事務ミスやヒヤリハットを職員会議や朝礼等で共有を行い、再発防止策を検討共有した。

・ヒヤリハット 45件

② 未来の社会福祉人材の養成のために、社会福祉士援助実習を受け入れた。

目白大学 1人（8月1日～9月30日のうち24日間）

東洋大学 1人（8月1日～9月14日のうち24日間）

(6) 地域福祉関連団体との連携

① 本会事業の目的を達成するために、申請のあった各団体活動に対し、共催・後援した。

（共催：0件、後援：3件）

	項目	事業名	主催者名	内容
1	後援	第31回旭区舞踊協会チャリティ発表会	旭区舞踊協会	期日：5月30日(日) 場所：旭公会堂 内容：日本舞踊の発表・来場者による募金を本会へ寄付
2	後援	特殊詐欺防犯啓発イベント「だまされないプロになろう！」旭区	表現のチカラ	期日：8月19日(木) 場所：旭区民文化センターサンハート 内容：特殊詐欺防犯啓発イベント
3	後援	希望が丘南地区クリーン活動	希望が丘南地区社会福祉協議会	期日：12月5日(日) 場所：善部小学校校庭及び希望が丘南地区周辺 内容：地域の美化・清潔保持イベント

② 各種団体の事務局を担った。

ア 神奈川県共同募金会旭区支会

皆さまから寄せられた善意は、18,883,804円にもなりました。募金は神奈川県共同募金会に全額送金しました。旭区内ではボランティア活動や地域活動の運営費に活用されます。

イ 日本赤十字社神奈川県支部 横浜市地区本部 旭区地区委員会

日赤会費募集には、11,733,174円もの協力をいただきました。神奈川県支部に全額送金しました。また、区内での火災等に対する見舞金等を支出しました。

ウ 旭保護司会

犯罪や非行をした人に対する更生活動を通して地域社会の理解を深め、犯罪や非行を未然に防ぐ活動を進める保護司活動を支援しました。

エ 旭区更生保護女性会

女性の立場から犯罪や非行を未然に予防し、明るい社会づくりを進める更生保護活動を支援しました。

オ 旭区更生保護協会

更生保護活動を行う団体への活動費助成及び、犯罪や非行のない街づくりを目指す「旭区社会を明るくする運動」等の実施のため募集した会費は 668,516 円になりました。

カ 旭区チャリティーゴルフ大会実行委員会

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、旭区チャリティーゴルフ大会実行委員会での協議により、チャリティーゴルフ大会は中止となりました。

令和3年度 あさひふれあい助成金等 助成団体一覧

【あさひふれあい助成金 要援護者支援区分】

総額(円): 7,394,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	さえずり	集いの場活動	400,000
2	いきいき	集いの場活動	300,000
3	子育て応援サークル スタイルきつず	集いの場活動	300,000
4	サロンあさひ	集いの場活動	180,000
5	えくぼ	集いの場活動	180,000
6	フリーハウス川井「わいが家」	集いの場活動	120,000
7	みんなの集いの場	集いの場活動	65,000
8	旭北第2ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
9	第2あゆみ会	集いの場活動	80,000
10	旭北第4ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
11	きっさプルメリア	集いの場活動	80,000
12	今宿すみれ会	集いの場活動	80,000
13	今宿東町お茶のみサロン「ひなた」	集いの場活動	80,000
14	第2鶴の会	集いの場活動	80,000
15	万騎が原おたのしみ会	集いの場活動	80,000
16	第4鶴の会	集いの場活動	80,000
17	ほほえみ会	集いの場活動	80,000
18	旭北第 ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
19	みなとの茶店	集いの場活動	80,000
20	希望が丘竹の会	集いの場活動	80,000
21	今宿東町老人昼食会	集いの場活動	80,000
22	旭中央つぶらの会	集いの場活動	80,000
23	みなまきよこ連	集いの場活動	80,000
24	おふくろの味サロン	集いの場活動	80,000
25	第3鶴の会	集いの場活動	80,000
26	サロンドゥしらね	集いの場活動	80,000
27	ワンコインカフェ吹上の会	集いの場活動	80,000
28	プログラミングこどもサロン	集いの場活動	80,000
29	萌ぎ会	集いの場活動	80,000
30	白根ふれあい昼食会	集いの場活動	80,000
31	まきラボ子ども文庫	集いの場活動	80,000
32	若葉台北自治会高齢者見守り活動「サロン若北」	集いの場活動	80,000
33	希望が丘松の会	集いの場活動	80,000
34	かるがもサロン	集いの場活動	80,000
35	サロンふるさと	集いの場活動	80,000
36	希望が丘・希望が丘南地区子育て応援ネットの会(K.K.ネットの会)	集いの場活動	80,000
37	今宿地区中学生ボランティア活動実行委員会	集いの場活動	80,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
38	県営団地すずらん会昼食会	集いの場活動	80,000
39	笹野台子育てサロン	集いの場活動	70,000
40	つづきの会	集いの場活動	64,000
41	親子サロン	集いの場活動	60,000
42	A2ライン	集いの場活動	60,000
43	お茶べりサロン さんさん	集いの場活動	60,000
44	子育てサロン笑顔	集いの場活動	50,000
45	旭南部地区子育て地域サロンMaMa♡Kids	集いの場活動	50,000
46	旭南部地区お茶のみ地域サロン ほっと	集いの場活動	45,000
47	子育てさろん ぽっかぽか	集いの場活動	40,000
48	すずらん会	集いの場活動	40,000
49	みんきちcafé	集いの場活動	40,000
50	桐が作ほっと	集いの場活動	30,000
51	かみふうせん	集いの場活動	30,000
52	サロンさくら会	集いの場活動	50,000
53	ちょこっと応援団	家事・生活支援活動	160,000
54	旭ふれあいコール	家事・生活支援活動	100,000
55	若葉台なんでも相談	家事・生活支援活動	50,000
56	ちょこっとボランティアかわい	家事・生活支援活動	80,000
57	リトルサービス	家事・生活支援活動	40,000
58	キャッツハンズクラブ	家事・生活支援活動	50,000
59	ボランティア配食グループ虹	配食活動	300,000
60	おべんとう ひよどり	配食活動	300,000
61	わかたけの会	配食活動	160,000
62	宅配ほほえみ	配食活動	160,000
63	お元気会	配食活動	80,000
64	特定非営利活動法人 あさひ	送迎活動	350,000
65	特定非営利活動法人 たちばな福祉会	送迎活動	300,000
66	NPO法人いっぱい若葉台事業所 のこのこの会	送迎活動	300,000
67	特定非営利活動法人 オールさこんやま	送迎活動	250,000

【あさひふれあい助成金 障害児者支援区分】

総額(円): 930,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	ハーモニカクラブあすなる	障害児者支援活動・当事者活動	40,000
2	NPO法人クラブハウス二俣川(精神障がい者就労支援事業所アレビア)	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
3	なかよし支援グループ	障害児者支援活動・当事者活動	100,000
4	特定非営利活動法人 打鼓音	障害児者支援活動・当事者活動	150,000
5	失語症 旭区友の会 言喜の会	障害児者支援活動・当事者活動	40,000
6	こどもサッカー教室	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
7	ひよこの会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
8	ひまわり会	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
9	Blue lace～ブルーレース～	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
10	おりしす会	障害児者支援活動・当事者活動	50,000
11	トット&ポッポ	障害児者支援活動・当事者活動	60,000
12	きらっとハピネス	障害児者支援活動・当事者活動	50,000
13	NPO法人もみの木 もみの木第1作業所	宿泊・日帰りハイク活動	50,000
14	朗読録音ボランティア なみの会	視覚・聴覚障害者支援活動	50,000

【あさひふれあい助成金】福祉のまちづくり区分

総額(円): 810,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	ホッと・ミュージック	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
2	若葉台リンク	②セルフヘルプグループ	40,000
3	PCどりーむ	⑪福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
4	男の元気食堂	⑧地域住民交流	40,000
5	旭区ひまわりの会	⑪福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
6	なかおバタフライガーデンの会	⑨自然環境活動	40,000
7	若葉台市民図書館SOLAおはなし会	⑤本の読み聞かせ	40,000
8	カフェボラふたまたがわ	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
9	ぼろろん座	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
10	親子グループ遊	⑫子育て支援事業	40,000
11	特定非営利活動法人 神奈川県視覚障害者情報雇用福祉ネットワーク	⑪福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
12	日本語ボランティア「虹の会」	③外国人支援	40,000
13	ぱれっと旭おもちゃ病院	④おもちゃドクター	40,000
14	つながりの丘	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
15	旭区精神障害者家族会(あけぼの会)	②セルフヘルプグループ	40,000
16	コーヒーボランティア ペリゴール	⑬施設・病院支援ボランティア	40,000
17	任意団体 表現のチカラ	⑪福祉に関する啓発・勉強会・公開講座	40,000
18	JUMP★UP-KIDS	⑫子育て支援事業	40,000
19	旭・日本語ボランティア	③外国人支援	40,000
20	万騎が原支えあいネットワーク かけはしねっと	⑧地域住民交流	30,000

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
21	ちくちくあさひ	①布おもちゃ	20,000

【あさひふれあい助成金 新規立ち上げ団体】

総額(円): **105,000**

No.	団体名	申請区分	助成額(円)
1	今宿小学校放課後自習室委員会	集いの場	40,000
2	スマイルカフェ	集いの場	25,000
3	和&輪	集いの場	40,000

【旭区社協独自助成金 周年事業・記念誌発行等助成金】

総額(円): **100,000**

	団体名	実施事業	助成額(円)
1	希望が丘東地区配食サービスボランティア「わかたけの会」	講演会および食事会	100,000

【旭区社協独自助成金 地域の見守り支えあい活動】

総額(円): **634,000**

	団体名	実施事業	助成額(円)
1	コミュニティサークル結	サロン	50,000
2	子ども青空キッチン「グリーン・グリーン」(若葉台大貫谷公園)	子ども食堂	50,000
3	らんらん食堂(今宿地域ケアプラザ)	地域食堂	50,000
4	スノードロップ(たすけあいハウス)	サロン	50,000
5	若葉台第 自治会(FFマート跡空建物)	サロン	50,000
6	若葉台中央自治会 お茶のみサロン会(中央自治会しらかし集会所A会議室)	サロン	50,000
7	ミーミの部屋(コワフェールアート理学美容院)	サロン	50,000
8	カレーハウス笹野台(笹野台会館)	地域食堂	50,000
9	どんぐりの輪(オンライン)	読書会	50,000
10	さくらカフェ☼(左近山の代表者の自宅)	サロン	50,000
11	市沢地区民生委員児童委員協議会	慰問訪問	50,000
12	川井地区民生委員児童委員協議会	訪問	49,000
13	市沢新中町内会	出前サロン	35,000

【旭区地域福祉活動団体助成】

総額(円): **554,000**

No.	団体名	事業名	助成額(円)
1	旭区老人クラブ連合会	各種行事	450,000
2	旭区子ども会育成連絡協議会	広報紙発行	104,000

令和3年度 福祉教育実施状況

福祉教育【学校に向けたもの】

No	実施日	学校名	対象	内容	協働先
1	7月	二俣川看護福祉高等学校	3年生	社会福祉協議会の役割について ボランティアについて	旭区社会福祉協議会 職員
2	11月	川井小学校	5年生	聴覚障害者理解	ろう特別支援学校 教員
3	11月	今宿南小学校	1, 2年生	視覚障害者理解	View Net神奈川
4	11月	万騎が原小学校	4年生	視覚障害者理解	View Net神奈川
5	11月	二俣川小学校	1, 2, 4年生	わたしのぼくの、みんなのしあわせってなん だろう？	福祉教育検討会 メンバー
6	11月	白根小学校	2年生	聴覚障害者理解	横浜市聴覚障害者協会
7	11月	鶴ヶ峯小学校	4年生	視覚障害者理解	View Net神奈川
8	11月	白根小学校	4年生	視覚障害者理解	View Net神奈川
9	12月	二俣川小学校	3, 5, 6年生	わたしのぼくの、みんなのしあわせってなん だろう？	福祉教育検討会 メンバー
10	12月	万騎が原小学校	1, 2年生	聴覚障害者理解	ろう特別支援学校 教員
11	12月	白根小学校	3年生	ポッチャ交流	旭区おりしす会 なかよし支援グループ
12	12月	川井小学校	4年生	視覚障害者理解	View Net神奈川
13	12月	左近山小学校	6年生	認知症サポーター講習会	旭区ひまわりの会
14	中止	左近山小学校	4年生	視覚障害者理解	
15	12月	左近山小学校	5年生	高齢者理解	左近山地区の地域の方たち
16	中止	今宿小学校	5年生	認知症について	
17	1月	上白根小学校	4年生	ブラインドサッカー	横浜ラポール・ブエンカンピ オ横浜
18	中止	本宿中学校	1年生	視覚障害・聴覚障害・認知症について	
19	中止	笹野台小学校	4年生	視覚障害者理解	

福祉教育【その他】

No	実施日	実施先	対象	内容	協働先
1	8月	あすなる学童クラブ	4～6年生	ふくしてなんだろう？しあわせってなんだ らう？(ふくしについて・車いす体験・みんな がしあわせになるためにできることってなん だろう)	旭区社会福祉協議会 職員
2	7月、8月、 12月	第一生命保険株式会社	社員	地域共生社会を共に目指すパートナーとし て	旭区社会福祉協議会 職員

令和3年度 善意銀行 金銭寄付者一覧

【寄付金の受入】 件数:28件 預託金:963,801円 (敬称略)

No.	受領日	寄付者名	預託金(円)
1	4月20日	ひよどり	3,000
2	4月28日	旭区女性団体連絡協議会	80,000
3	5月18日	〈匿名〉	2,000
4	5月22日	荻窪 邦昭	10,000
5	5月25日	(株)坂本興業	200,000
6	6月1日	旭区舞踊協会	42,263
7	6月2日	〈匿名〉	100,000
8	6月2日	たかはし書道教室	5,000
9	6月11日	〈匿名〉	5,000
10	6月16日	〈匿名〉	8,000
11	7月19日	〈匿名〉	3,719
12	8月10日	ひよどり	3,000
13	10月12日	荻窪 邦昭	10,000
14	10月19日	〈匿名〉	4,500
15	11月12日	笹野台地区社会福祉協議会	45,114
16	12月6日	都岡町内会チャリティーもちつき大会	37,790
17	12月15日	旭区民生委員児童委員協議会	860
18	12月15日	伊志嶺 朝之	30,000
19	12月21日	〈匿名〉	4,500
20	12月24日	〈匿名〉	1,125
21	12月27日	伊藤 志壽江	20,000
22	1月19日	荻窪 邦昭	10,000
23	2月8日	〈匿名〉	5,000
24	2月16日	神奈川県年金受給者協会旭分会旅行部前分会長 柳富栄	70,000
25	2月24日	〈匿名〉	100,000
26	2月25日	株式会社 清水総合ビジネス 代表取締役 加藤國男	150,000
27	3月7日	小川 竹子	10,000
28	3月30日	地区リハビリ教室連絡会	2,930

